

DS-0251 ファイルエクスポート機能ソフト
「.ORF」形式を WAV 形式、テキスト形式に変換する方法

DS-0251 ファイルエクスポート機能ソフト

「.ORF」形式を WAV 形式、テキスト形式に変換する方法

DS-0251 ファイルエクスポート機能ソフトを追加することで、「.ORF」形式で保存されたデータを WAV 形式、テキスト形式 DADiSP 形式、MATLAB 形式、UNIVERSAL 形式へ変換することが可能です。

ここでは WAV 形式へ変換する手順を説明しますが、その他の形式への変換手順も基本的に同様です。

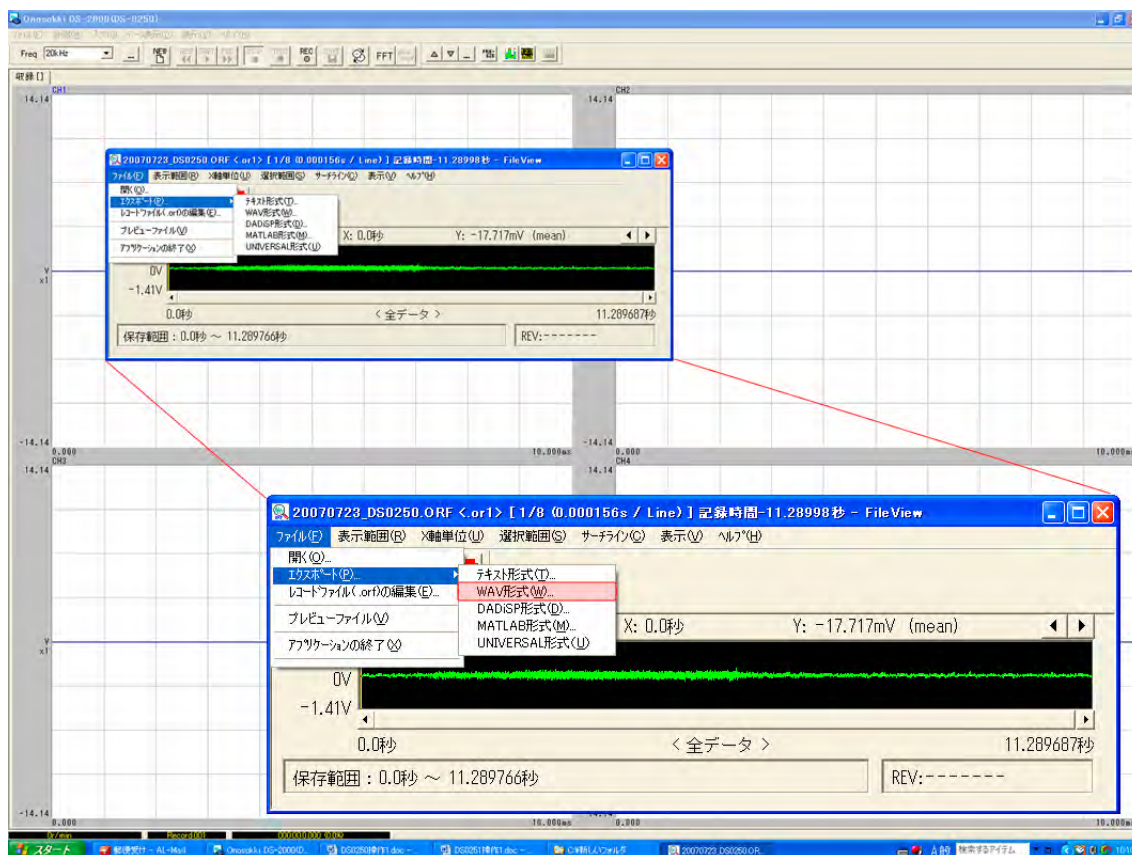
DS-0251 ファイルエクスポート機能ソフトは、DS-0250 スループットディスク機能のアドインとして組み込まれます。操作は DS-0250 を起動して行います。

■ 操作手順

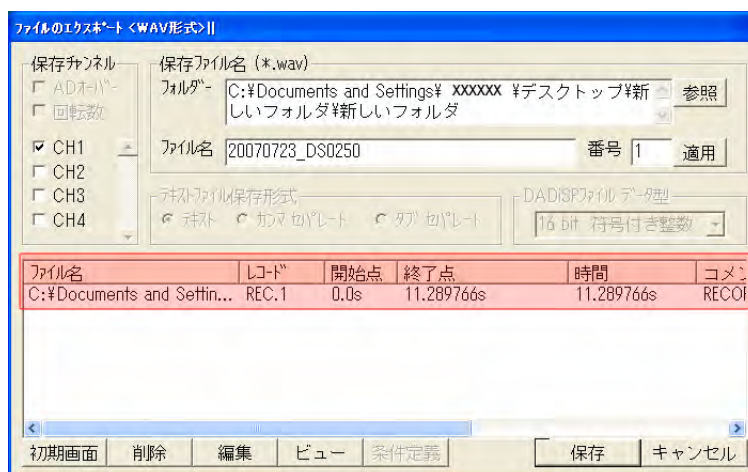
1. DS-0250 を起動します。
2. ファイルメニューから、[ファイル] → [ファイルビューアを開く] を選択し、表示される「プレビューファイルを開く」画面で保存した「ファイル名. ORF」を指定します。
「開く」をクリックすると、保存されたデータの「FileView」が開き、保存データの波形全体が表示されます。
3. 画面内のプルダウンメニューにて「Record 番号」を選択します。ここでは「Record1」を選択します。



4. ファイルメニューから、[ファイル] → [ファイルエクスポート] → [WAV 形式]（または [テキスト形式]）を選択します。



5. 「ファイルのエクスポート<WAV 形式>」画面が表示され、ファイルリストにファイル名、レコード「****REC. 1」、「開始点」「終了点」等が表示されます。



6. 範囲の指定

「ファイルのエクスポート」を開いたまま、ファイルビューのデータエリアをドラッグします。青色に範囲表示されます。

7. ファイルビュー画面上的の | ←→ | ツールボタン（開始・終了アドレスの設定）をクリックし、右下の「リストに追加」ボタンをクリックします。



「ファイルのエクスポート」のファイルリストにファイル名が追加されます。

8. 上記 5 ～ 7 を繰り返し、リストアップをおこないます。「Recod 番号」を変更して範囲指定が可能です。



9. 「ファイルのエクスポート＜WAV 形式＞」画面右下の「保存」をクリックします。リストアップしたデータが連番のファイル名で保存されます。



10. WAV ファイルのデータ確認

ファイルメニューから、[ファイル] → [ファイルファイルビューアを開く] を選択し、表示される「プレビューファイルの選択」画面で保存時のファイル名「***.wav」を指定して、「開く」をクリックします。



11. 保存した「***.ORF」ファイルや「***.WAV」ファイルは DS-0221 FFT 解析ソフトや DS-0223 リアルタイムオクターブソフト、XN-8000 シリーズ Repolyzer2 でオフライン解析をすることができます。

<補足>：範囲指定の方法

上記 1 ～ 7 での範囲指定の代わりに、ファイルメニューから、〔選択範囲〕→〔解析保存範囲指定〕を選択し、表示される「解析範囲の設定」画面で開始点と終了点をテンキー入力することによりデータ範囲指定が可能です。



また、全データを範囲指定にするに戻すには、ファイルメニューから〔サーチライン〕→〔表示範囲を全選択〕し、画面上の |←→| (開始終了アドレスの設定) ボタンをクリックします。



— 以上 —